

富山県早月川でアサマシジミを採集

野中 勝

これまでに記録されているアサマシジミの富山県に於ける確実な産地は立山町\* のみの様であるが、中新川郡上市町に於て本種を得たので報告する。

採集地は早月川の支流立山川の標高1100m付近で、1979年6月10日、イフオウギと思われるマメ科植物より幼虫9頭を採集した。この食草は川岸の傾斜地に点々と見られ、20株程調べた中の2株から幼虫が得られた。3頭は食草上の茎、蕾に静止していたが、他は食草の根元の石の裏、枯葉の上などに見られた。

全て終令で6月16日まで蛹化し、6月20日~23日の間にクダシメ♀が羽化した。

立山町産の個体と比較すると、雄の翅表は酷似しているが、雌では前翅にも弱いながら赤色斑が見られる点でやや違いがある様である。また飼育した少数の個体で形態を論ずることにどれ程意味があるか疑問で、野外での成虫の採集が待たれる。

未筆ながら立山町産の個体との比較を快諾され、また過去の記録等について御教示下さった嵯峨井淳郎氏、文献面で御協力頂いた松本和馬氏に御礼申し上げます。

\* 大野 豊・嵯峨井淳郎 "富山県のアサマシジミについて" AMICA 17(2) 16~17 (1978)

石川県産メスアカミドリシジミの記録を追加す

吉村 久樹

翔NO5. Zephyrus特集において、メスアカミドリシジミの採集記録が、岩間温泉にあるが、これに追加を加えたい。

以前の記録は、次のものである。

1♀ 白山岩間温泉 1957 VII 25 柴木氏採集

1979年8月19日に、新岩間へ岩間ヒコツテへ岩間噴泉塔群を歩いてみたが、その折、香川大学農学部の高家 徹氏に出会った。

氏は、以前金沢に住んでいたこともあり、岩間近辺へは過去何度か採集に来ているようである。高家氏の訃では岩間でメスアカミドリシジミを採集したというので早速データを送っていただいたので、ここに記録しておきたい。

また、他2種のゼフィルスも採集されているのであわせて記す。

メスアカミドリシジミ	1♀	白山岩間温泉	Aug 7 1977
オオミドリシジミ	1♀	"	"
ジョウザンミドリシジミ	1♂	"	"

なお、このうち雌2頭とも、シシウドの花に吸蜜に来ていたそうである。3頭とも、高家 徹氏採集、保管。

高家氏の連絡先は次のとおりである。

〒761 香川県木田郡三木町池戸2353の1 光風寮  
香川大学農学部 高家 徹

白山釈迦道、湯ノ谷の蝶

吉村 久貴

1979年8月29日、釈迦道での採集記録を載せておく。

アサギマダラ	2♂♂	アカタテハ	1ex	ホシミスジ	1♂
キベリタテハ	1♂	アサマイチモジ	1ex	サカハチクヅル	1♂

今年は昨年に比べて、アサギマダラをあまり見かけなかったが、ホシミスジ1♂(ボロ)を採集した。当日は暑い日であったが、地面の水に吸水に来ていた。

白山の尾添川の方には記録があるようだが、湯ノ谷ではないようなので、記録しておきたい。

# 飼育記録

松井正人

## 1) アイノミドリシジミ

1978年に金沢近辺各地で、ミズナラより採卵したアイノミドリシジミの飼育記録である。

採卵は11月5日より始め、12月11日で終わっている。卵はミズナラの芽ごと持ち帰り、11月20日までに室内に放置していたが、それ以後、ストックングに入水庭木につるした。11月20日以後に採卵されたものは、翌々日手で庭木につるした。

1979年3月8日に、全卵冷蔵庫へ移し変えた。この時は、1卵も孵化してはいなかった。4月8日に全卵冷蔵庫より出し、室内でミズナラを与え、飼育を開始した。

採卵場所	標高(m)	採卵日	採卵数
金沢市 医王山	900	XI. 5	3
〃 高尾山	450	XI. 11	8
〃 国見山	450	XI. 12	18
〃 駒帰	270	XI. 18	30
辰口町 和佐谷	200	XI. 22	4
金沢市 小原	340	XI. 25	2
〃 大平沢	500	XII. 11	8
〃 樫見	270	XII. 11	4
〃 天池	230	XII. 11	2

残念ながらことに、医王山、高尾山、国見山、は1卵の孵化も見ることがなかった。これらのグループは、採卵後1週間以上室内に放置されたグループである。

直、5月1日に2卵孵化してから1週間たっても、1卵も孵化しなかった。残りのすべての卵は孵化しないものと見なした。

## 飼育結果

幼虫期は、33個体の結果より最長30日、最短20日、平均23日。

蛹期は、25個体の結果より最長22日、最短16日、平均18日。

性比は、♂ 64%、♀ 36%。

♀の斑紋比は、12個体の結果よりA型67%、B型0%、AB型25%、O型8%。

飼育結果一覽表

産地	孵化	前蛹	蛹化	羽化	幼虫期	蛹期	性	備考
佐和谷	Ⅳ.15	Ⅴ.10	Ⅴ.12	Ⅵ.1	25	20	♂	羽化不全
	Ⅳ.18	Ⅴ.13	Ⅴ.15	—	25	—	—	蛹<子(Ⅳ.1)
	Ⅳ.21	Ⅴ.13	Ⅴ.15	Ⅵ.2	22	18	♂	
	Ⅳ.22	Ⅴ.14	Ⅴ.16	Ⅵ.3	22	18	♂	
大平沢	Ⅳ.11	Ⅴ.11	Ⅴ.12	Ⅵ.3	30	22	♀	AB型
	Ⅳ.21	Ⅴ.21	Ⅴ.22	Ⅵ.8	30	17	♀	AB型
	Ⅳ.23	Ⅴ.15	Ⅴ.17	—	22	—	—	蛹<子(Ⅳ.1)
檜見	Ⅳ.15	Ⅴ.12	Ⅴ.14	Ⅵ.3	27	20	♀	A型
小原	Ⅳ.20	Ⅴ.13	Ⅴ.16	—	23	—	—	蛹<子(Ⅳ.1)
天池	Ⅳ.20	Ⅴ.14	Ⅴ.16	Ⅵ.3	24	18	♂	
	Ⅳ.22	Ⅴ.16	Ⅴ.18	Ⅵ.5	24	18	♀	O型
駒帰	Ⅳ.15	Ⅴ.11	Ⅴ.13	Ⅵ.1	26	19	♂	
	Ⅳ.16	Ⅴ.11	Ⅴ.12	Ⅵ.1	25	20	♂	
	Ⅳ.19	Ⅴ.11	Ⅴ.14	Ⅵ.2	22	19	♂	
	Ⅳ.20	Ⅴ.11	Ⅴ.14	Ⅵ.1	21	18	♂	
	Ⅳ.21	Ⅴ.15	Ⅴ.17	—	24	—	—	蛹<子(Ⅳ.1)
	Ⅳ.23	Ⅴ.13	Ⅴ.16	—	20	—	—	蛹<子(Ⅳ.1)
	Ⅳ.23	Ⅴ.14	Ⅴ.16	Ⅵ.3	21	18	♂	
	Ⅳ.23	Ⅴ.15	Ⅴ.17	—	22	—	—	蛹<子(Ⅳ.1)
	Ⅳ.23	Ⅴ.15	Ⅴ.17	—	22	—	—	蛹<子(Ⅳ.1)
	Ⅳ.23	Ⅴ.16	Ⅴ.18	—	23	—	—	蛹<子(Ⅳ.3)
	Ⅳ.23	Ⅴ.16	Ⅴ.18	Ⅵ.4	23	17	♂	
	Ⅳ.24	Ⅴ.17	Ⅴ.19	Ⅵ.4	23	16	♂	
	Ⅳ.25	Ⅴ.19	Ⅴ.21	Ⅵ.6	24	16	♂	
	Ⅳ.26	Ⅴ.17	Ⅴ.19	Ⅵ.4	21	16	♂	
	Ⅳ.18	Ⅴ.13	Ⅴ.15	Ⅵ.4	25	20	♀	AB型
	Ⅳ.23	Ⅴ.17	Ⅴ.19	Ⅵ.6	24	18	♀	A型
	Ⅳ.23	Ⅴ.17	Ⅴ.19	Ⅵ.6	24	18	♀	A型
	Ⅳ.26	Ⅴ.19	Ⅴ.21	Ⅵ.7	23	17	♀	A型
	Ⅳ.26	Ⅴ.19	Ⅴ.21	Ⅵ.7	23	17	♀	A型
	Ⅳ.27	Ⅴ.21	Ⅴ.22	Ⅵ.8	24	17	♀	A型
Ⅴ.1	Ⅴ.21	Ⅴ.23	Ⅵ.9	20	18	♀	A型	
Ⅴ.1	Ⅴ.21	Ⅴ.23	Ⅵ.9	20	18	♀	A型	

## 2) フジミドリシジミ

1978年 11月26日 白山シャカ岳にて採卵した29卵の飼育記録である。

卵は、ブナの枝とも持ち帰り、すぐにストッキングに入れ庭木につるした。

1979年 3月8日に、野外より冷蔵庫へ移した。この時点で13卵孵化し、他に1卵寄生虫が孵化していた。4月7日、冷蔵庫より出し、室内でブナを手えて飼育を始めた。

### 飼育結果

孵化	前蛹	蛹化	羽化	幼虫期	蛹期	性	備考
10.8	10.29	10.30	11.17	21	17	♂	上記8に食小虫
10.8	10.29	—	—	21	—	—	
10.9	11.1	11.3	11.20	22	17	♀	
10.10	11.2	11.4	11.20	22	16	♂	人為的圧死
10.10	11.4	11.6	11.21	24	15	♂	
10.10	11.5	11.6	11.22	25	16	♀	
10.10	—	—	—	—	—	—	
10.12	11.4	11.5	11.22	22	17	♂	

孵化率は 13/28 として 43%

幼虫期は、7個体の結果より、最長25日、最短21日、平均22日

蛹期は、6 " " 17日、 " 15日 " 16日

フジミドリシジミは、共食いする。

実物大 ブナ



1979年10月11日

フジミドリシジミの食痕

1977年11月28日より1ヶ月間鹿児島市へ公務出張の機会を得た。北陸地方は、雪の便りもちらほらというこの時期、鹿児島は南国そのもので昼はじっと汗ばみ、まだまだ採集が可能で採集欲を大いに湧かした。鹿児島は2度目でもあり観光めぐりはいっさいやらず、仕事のあい間の晴天の日はすべて蝶の成虫、幼虫、卵採集に費した。わおかな期間ではあったが、桜島の爆発を4度ばかり経験し大地の揺れに肝を冷やしながらかも、バラの蜜に産卵中のヤクマルリシジミの雌を目撃したり、生態図鑑でみたムラサキツバメの越冬群を見ることのできた。

また、国鉄山川駅構内のギョボクよりよもやと思ったツマベニチョウの幼虫を見つけたり、西麓にとり易いところに沢山ある国見岳のクリシマドリシジミの採卵、すでに遅いと思ったサツマシジミ雄の完品採集等、思い出はつきない。

採集記録としては、時期から種類、数量的に少く、またほとんど既産地で格別これといったデータはないが、いちおう記録しておきたい。

- ナガサキアゲム 鹿児島大学農学部構内 8虫籠、XII 3, 1977
- ムラサキツバメ 鹿児島城山 2♂♂1♀ XII 3, 1977. 1♂2♀宇  
枕崎市 XII 4, 1977. 鹿児島照国神社付近 70 exs. XII 8,  
1977. 鹿児島城山 200 exs. XII 18, 1977.
- ムラサキシジミ 鹿児島城山 1♂ XII 3, 1977. 枕崎市 2♂♂  
2♀♀ XII 4, 1977. 鹿児島照国神社付近 5♂♂3♀♀ XII 8,  
1977.
- サツマシジミ 枕崎市 1♂ XII 3, 1977.
- ヤクマルリシジミ 鹿児島城山 1♀ XII 3, 1977. 同地 1♂  
XII 13, 1977. 鹿児島市蕨ヶ木駅構内、10卵5幼虫、XII 3,  
1977. 揖宿郡遠入町、1♀5卵、XII 4, 1977.
- ヤマトシジミ 鹿児島城山、1♂3♀♀、XII 18, 1977.
- ウラナミシジミ 枕崎市 3♂♂、XII 4, 1977.
- クリシマドリシジミ 始末郡横川町国見岳、100卵、XII 11, 1977.
- ウラギンシジミ 枕崎市、1♂、XII 4, 1977. 鹿児島照国神  
社付近、2♀♀、XII 8, 1977.
- インガケチョウ 鹿児島城山、1♂、XII 3, 1977. 同地、1♀、



XII 8, 1977.

- キタテハ 鹿嶋宗城山、1舎、XII 3, 1977.  
キチヨウツ 旭崎市 1舎、XII 4, 1977. 鹿嶋宗城山、  
XII 8, 1977.  
ツマダロキチヨウツ 旭崎市 1舎、XII 4, 1977.  
モンシロキチヨウツ 山川町 多数目撃、XII 4, 1977.  
ツマバニキチヨウツ 山川町山川駅構内、6幼虫、XII 4, 1977.  
ツマダロヒヨウモン 大口市布計、1舎目撃、XII 18, 1977.  
クロセセリ 大口市布計、1幼虫、XII 18, 1977.

採集標本は、ほとんど筆者保管であるが、一部、橋場 清、嵯峨井 均の両人が保管のものとあることを付記しておく。

なお、この1ヶ月の間、鹿嶋宗報理詰局の相園 香氏に、自家用車の提供と主要産地への案内、卵・幼虫採集後の処理で大変お世話になった。鹿嶋中央高校の福田晴夫先生には文献類で、鹿大附属病院の鮫島利尚氏には国見岳のクリシマミドリシジミ卵採集で、亀山亮氏には城山周辺の採集コースならびにミカドアゲムについて各々お世話をいただいた。深く感謝いたします。

お知らせ

—会員の住所変更がありました—

吉村 久賢 〒920 金沢市旭町3丁目21の16 TEL 61-2518

竹谷 宏二 〒924 松任市三浦町44の2 TEL 0162-76-6929

—1979・9月例会より—

9月13日PM 8:00赤坂プラザにて9月例会を開催。井村正行、野中祐、松本和馬、吉村久賢、嵯峨井清一郎の5氏出席。竹谷、松井の両氏は公務出張の為、金平氏は試験中のため欠席された。議題は、会誌の印刷方法についてタイプ印刷にするか、従来どおり手書きゼロックスコピーで経続か、で話し進めたが保留となる。

シーズン成果発表。吉村氏クモツキ奮戦記。野中 井村氏の北海道採集記。松本、野中氏による、オサムシ談義。井村氏の日本産カミキリムシの動向と今後の動向。etc……結局は、蝶に関しては欠席された金平氏が一番行動していたようです。

ー求む！ ウスバシロ4ヨウ・オサムシのデーター

ウスバシロとオサムシのデータを求めています。さしつかえなければ、嵯峨井迄。ある程度まとまれば、雑誌上に発表いたします。

編集後記

※巻7号をおくりします。1979年の成虫シーズンも終盤、すでにヒサマツ卵に挑戦している人もいるみたいですが、今年こそ、石川泉産ヒサマツミドリ発見!!の記事を本誌に掲載したいものです。※外郭より雑音を時々耳にしますが、それはさておき、会員募集もします。結核学会発表より金沢市在住の川南豊、岩下泰子、諸道秀人、中村克己、大前賢之、山岸善世の6氏に入会案内を出しました。10月18日現在諸道、岩下両氏より賛同を得られました。  
ー編集子ー

目 次

石川泉早月川でアサマシジミを採集……………野中 勝…………1  
 石川泉産メスアカミドリシジミの記録を追加……………吉村夕賢…………1  
 白山釈迦道、湯ノ谷の蝶……………吉村夕賢…………2  
 飼育記録……………松井正人…………3  
 南園、辰興園にて……………嵯峨井 淳…………6  
 お知らせ…………………………7  
 編集後記…………………………8

期	NO7	1979年10月26日
発行:	金沢市三ツ橋町2-9-34	松井正人方
	百万石蝶談会	
編集:	嵯峨井 淳	